

本機を正しく組み立てるために、組み立て前にこの説明書をよくお読みください。この説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

- このチラシはピアノ設置業者専用です。お客様はピアノの分解、組み立てはしないでください。
 - このチラシは、分解や組み立て時にピアノ設置業者が参照できるよう、取扱説明書と一緒に保管してください。
 - 分解／組み立ての際は、必ず、商品をお求めの販売店か、ピアノ運送専門業者にご相談ください。お客様ご自身の分解／組み立てにより発生した事故、故障に関して、ローランドは一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - 本機を移動するときは、はじめに鍵盤の蓋、譜面立て、大屋根を閉じます。次に、電源コードを抜いてペダルのアジャスターを上げます。確実に持ち運べる人数で、水平に持ち上げ、手をはさんだり、足の上に落としたりしないよう注意して運んでください。設置場所が決まったら、アジャスターが床に当たるように回して調節します。
 - ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が悪く飲み込んだりしないように、お子様の手の届かないところで保管してください。
- 

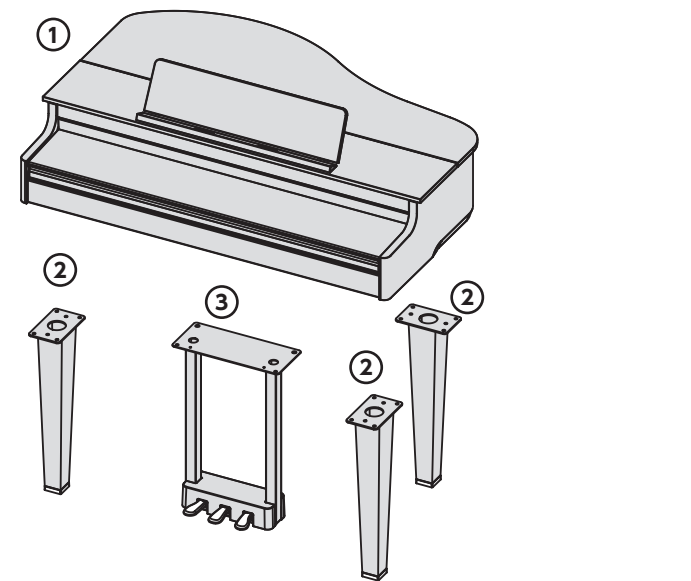
※ 電動工具を使用して組み立てないでください。ネジやソケット・スクリューが空回りする恐れがあります。

※ 各ネジはしっかり締め付けて、安定した水平な場所に設置してください。毛足の長いカーペットの上には絶対に設置しないでください。ペダルがぐらついて破損する恐れがあります。

※ ピアノ本体とスタンドの表面は、大変デリケートですのでキズを付けないよう、取り扱いには十分注意してください。

※ ピアノ本体を直接床面に置かないでください。ピアノ底面の端子やヘッドホン・フックなどの破損の原因になります。

部品の確認



a

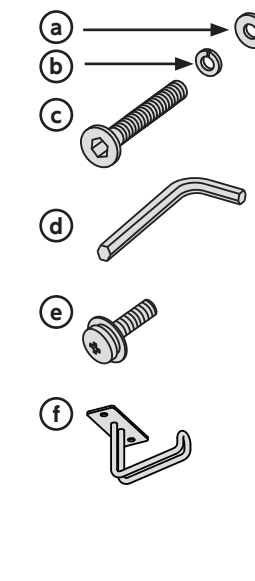
b

c

d

e

f

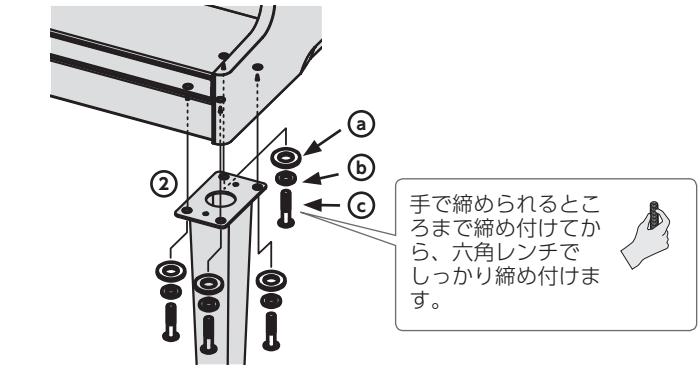


①	ピアノ本体	1
②	脚 (スタンド)	3
③	ペダル	1
a	平ワッシャー	16
b	スプリング・ワッシャー	16
c	ソケット・スクリュー (M8 × 30)	16
d	六角レンチ	1
e	ネジ (M4 × 16)	2
f	ヘッドホン・フック	1

組み立て方法

ピアノの脚を取り付ける

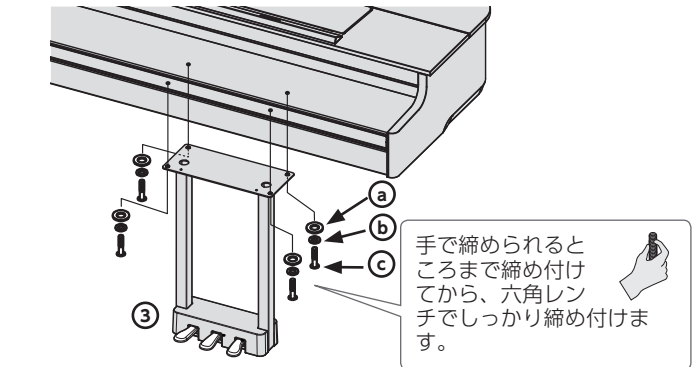
- 脚②をピアノ本体の下位置に持っていきます。
 - ソケット・スクリュー③にスプリング・ワッシャー⑥、平ワッシャー⑦を順に入れます。六角レンチ⑧を使って、ソケット・スクリュー③で脚②をピアノ本体に固定します (4箇所)。
- ※ソケット・スクリュー③は強く締めすぎないでください。スプリング・ワッシャー⑥が平らになったら、締めるのを止めてください。



- 同じように残り 2 つの脚②も、ピアノ本体に固定します。

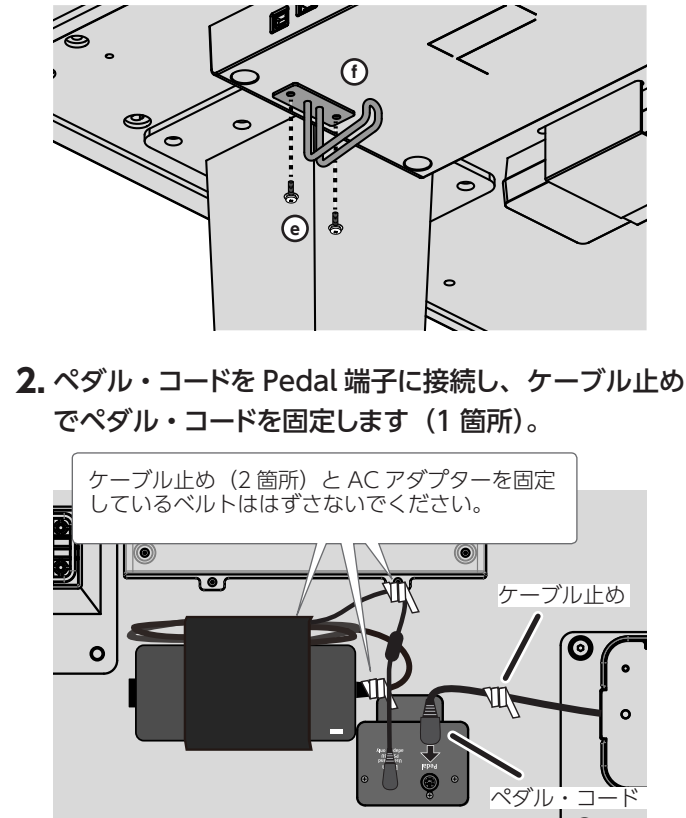
ペダルを取り付ける

- ソケット・スクリュー③にスプリング・ワッシャー⑥、平ワッシャー⑦を順に入れます。六角レンチ⑧を使って、ソケット・スクリュー③でペダル③をピアノ本体に固定します (4箇所)。
- ※ソケット・スクリュー③は強く締めすぎないでください。スプリング・ワッシャー⑥が平らになったら、締めるのを止めてください。



他の部品を取り付ける

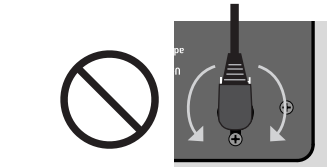
- ヘッドホン・フック⑩をネジ⑨で固定します (2箇所)。
- ペダル・コードを Pedal 端子に接続し、ケーブル止めでペダル・コードを固定します (1箇所)。



注意

中途半端に挿した状態でペダル・コードのプラグ部分を回転させると、破損する恐れがあります。

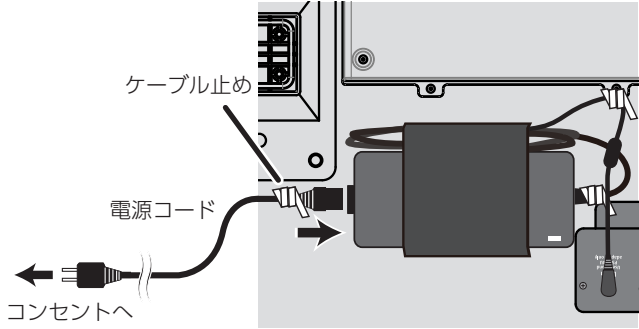
上のイラストを参考にして、必ず正しい向きに合わせてから挿してください。



挿したまま回転させない！



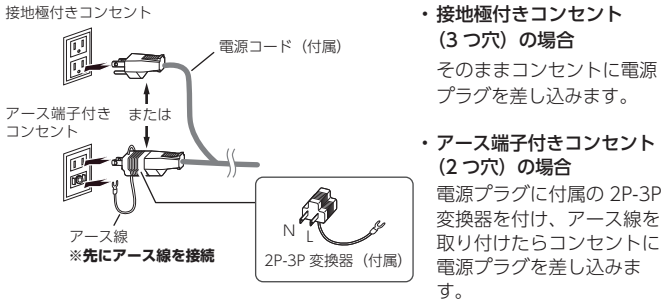
3. 電源コードを AC アダプターに差し込み、ケーブル止めで電源コードを固定します（1 箇所）。



4. 電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

電源コードの接続

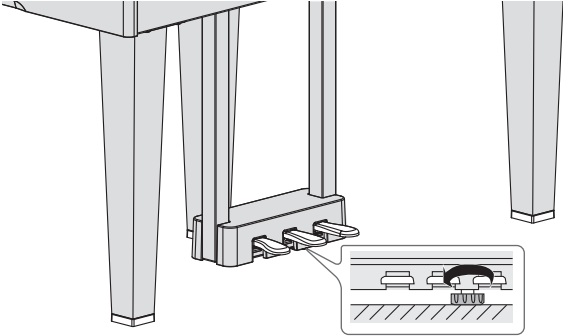
  故障／漏電時の感電やノイズの発生を防止するために、アースを取り付けてください。



- ※ アース線を取り付ける／取りはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ※ アース線を取り付けできない場合は、電気工事店にご相談ください。

5. アジャスターを調節します。

ペダルの下にあるアジャスターを下げ、床に当たるように調節します。カーペットの上などに設置するときは、床面を少し強く押し付けるぐらいに下げてください。



※ 床との間に隙間があると、ペダルを破損する原因になります。

本機を移動するときは

本機を移動するときは、はじめに鍵盤の蓋、譜面立て、大屋根を閉じます。次に、電源コードを抜いてペダルのアジャスターを上げます。確実に持ち運べる人数で、水平に持ち上げ、手をはさんだり、足の上に落としたりしないよう注意して運んでください。設置場所が決まったら、アジャスターが床に当たるように回して調節します。